

# 津山・英田圏域の保健医療の現況

## 美作保健所

※平成 29 年 3 月時点での統計数値です。

## 目 次

1	保健医療圏の概況	1
2	保健医療圏の保健医療の現状	2
	(1) 人口及び人口動態	2
	①人口	2
	②人口動態	4
	(2) 保健医療資源の状況	10
	①医療施設	10
	②保健関係施設	12
	③保健医療従事者	12
	(3) 受療の動向	13
	①患者数及び受療率	13
	②受療動向	13
	③病床利用率及び平均在院日数	14

## 1 保健医療圏の概況

津山・英田保健医療圏は、津山地域(津山市、鏡野町、久米南町、美咲町)、勝英地域(美作市、勝央町、奈義町、西粟倉村)の2市5町1村からなっています。

当圏域は、県の北東部に位置し、総面積は、1,847.66k㎡で、岡山県の約26%を占め、総面積の中でも林野の占める割合が68.6%と高くなっています。

地形的には、北部に中国山地、中央部に津山盆地を中心に美作台地が広がり、南部は丘陵地帯で、中国山地に源を発する吉井川が、その支流の香々美川、加茂川を合流し、さらに東端を流れる吉野川と合流して南下し、緑豊かな美しい自然に恵まれた地域です。

鉄道は、津山線、因美線、姫新線及び智頭線が山陽、山陰、京阪神方面と連絡し、広域交通網として機能しています。東西に中国縦貫自動車道が走り、国道7路線(53号、179号、181号、429号など)、主要地方道及び一般県道の道路交通網が生活・産業の基盤となっています。

## 2 保健医療圏の保健医療の現状

### (1)人口及び人口動態

#### ①人口

##### ア 人口の推移

圏域の人口は、平成27年の国勢調査(10月1日現在)によると、182,412人となっており、減少し続けています。

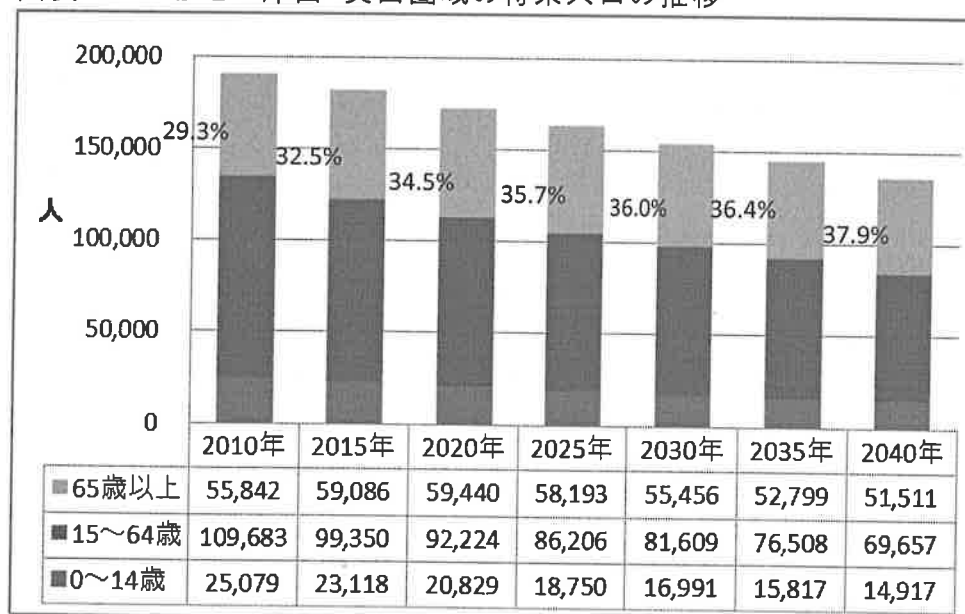
図表11-5-2-1 人口の推移 (単位:人)

年	圏域	津山地域	勝英地域
平成2年	212,460	154,463	57,997
7	210,809	153,868	56,941
12	204,793	150,267	54,526
17	198,796	146,895	51,901
22	190,604	141,306	49,298
23	189,016	140,252	48,764
24	186,900	138,857	48,043
25	184,997	137,433	47,564
26	183,189	136,189	47,000
27	182,412	135,932	46,480

(資料:国勢調査 平成23年～26年は岡山県毎月流動人口調査)

(注)津山地域は旧勝北町を含む、以下同様。

図表11-5-2-2 津山・英田圏域の将来人口の推移



(資料:国立社会保障・人口問題研究所)

イ 年齢階級別人口

圏域の平成27年人口を年齢3区分で見ると、年少人口(0歳～14歳)は23,155人、12.7%、生産年齢人口(15歳～64歳)は99,809人、55.0%、老年人口(65歳以上)は58,662人、32.3%で、岡山県平均を上回って高齢化が進んでいます。

図表11-5-2-3 年齢階級別人口の推移 (単位:人)

年	圏域総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口
		0歳～14歳	15歳～64歳	65歳以上
平成2年	212,460	38,769	130,310	39,079
7	210,809	34,759	128,842	47,180
12	204,793	30,443	122,393	51,941
17	198,796	27,438	116,635	54,591
22	190,604	25,069	108,989	55,567
23	189,016	24,735	108,182	55,179
24	186,900	24,325	105,631	56,078
25	184,997	23,907	103,115	57,111
26	183,189	23,593	100,420	58,312
27	182,412	23,155	99,809	58,662

(資料:岡山県統計分析課「岡山県毎月流動人口調査」)

(注)総数は年齢「不詳」を含んでいるため、年齢人口の計とは合致しない。

図表11-5-2-4 圏域人口構成(平成27年) (単位:人)

区分	総数	0歳～14歳		15歳～65歳		65歳以上	
		年少人口(%)		生産年齢人口(%)		老年人口(%)	
圏域	182,412	23,155	(12.7)	99,809	(55.0)	58,662	(32.3)
岡山県	1,921,525	247,890	(13.1)	1,098,140	(58.2)	540,876	(28.7)

(資料:岡山県統計分析課「岡山県毎月流動人口調査」)

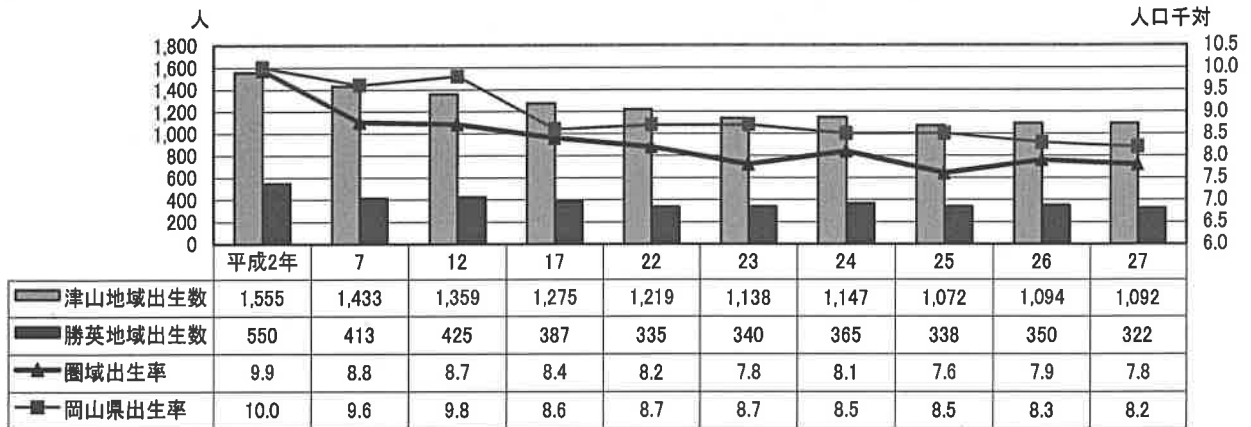
(注)年齢3区分別構成比(%)については、分母から年齢不詳を除いて算出している。

## ②人口動態

### ア 出生

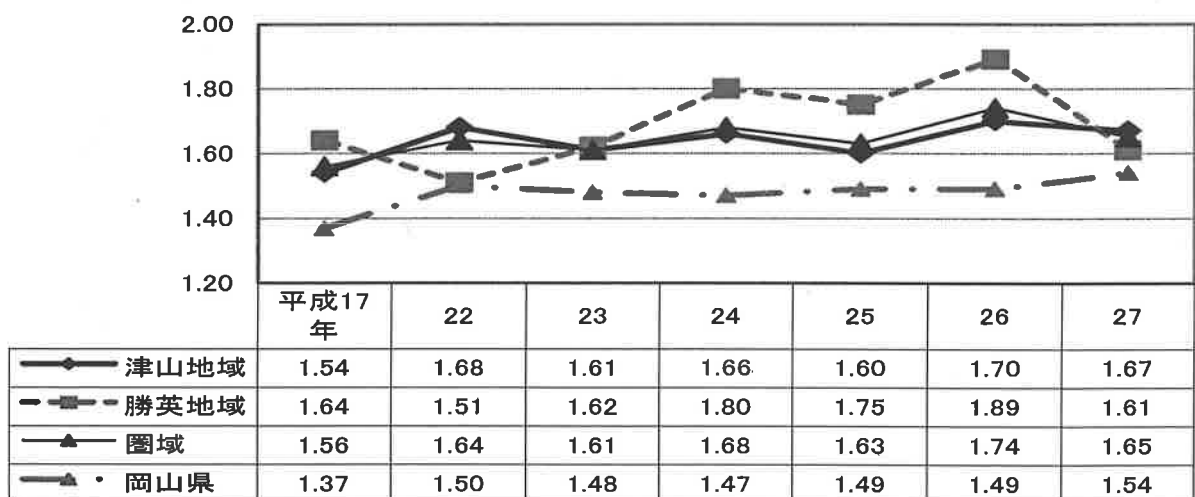
圏域の出生数は減少傾向にあります。平成27年の圏域の出生数は1,414人（津山地域1,092人、勝英地域322人）、出生率（人口千対）は7.8であり、岡山県の8.2と比べて低くなっています。一方、合計特殊出生率（1人の女性が一生の間に産む子供の数）は、1.65（津山地域1.67、勝英地域1.61）で岡山県1.54より高くなっています。

図表11-5-2-5 出生数、出生率の推移



（資料：厚生労働省「人口動態統計」）

図表11-5-2-6 合計特殊出生率の推移



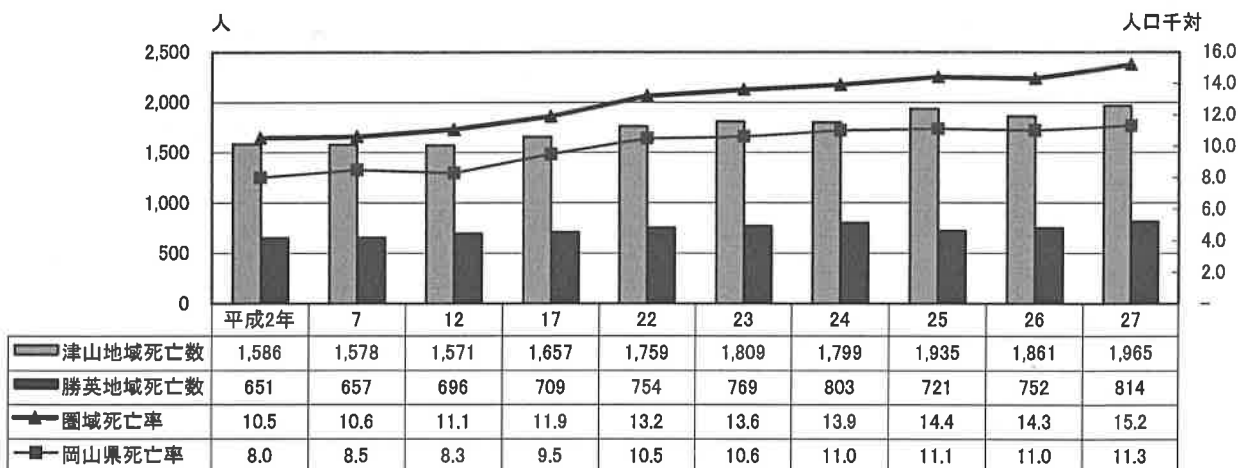
（資料：厚生労働省「人口動態統計」）

## イ 死亡

### (ア) 死亡数と死亡率の推移

人口の高齢化に伴い、死亡率も増加傾向にあります。平成27年の圏域の死亡数は2,779人(津山地域1,965人、勝英地域814人)、死亡率(人口千対)は15.2で岡山県の11.3を上回っています。

図表11-5-2-7 死亡数と死亡率の推移

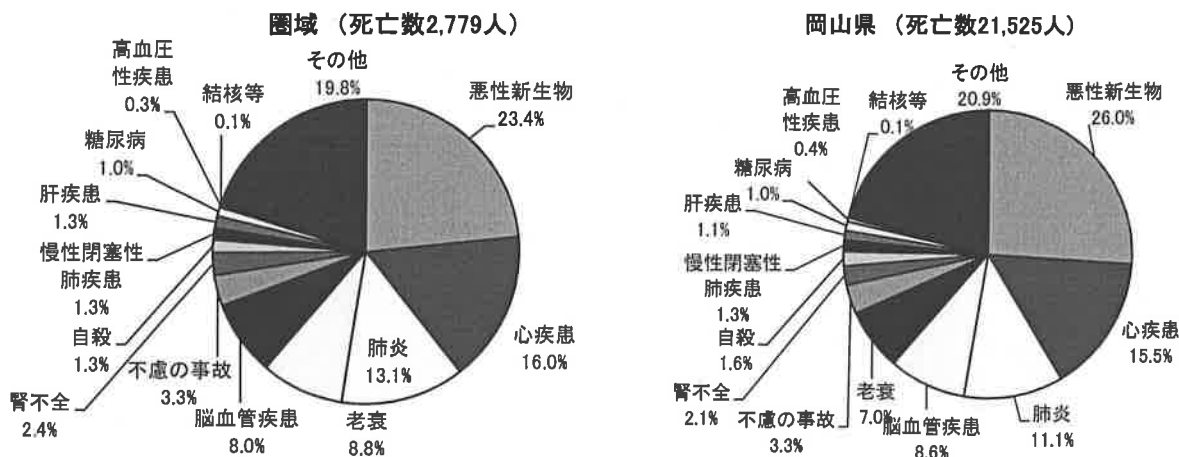


(資料:厚生労働省「人口動態統計」)

### (イ) 主な死因別の死亡率

死因別死亡率は、悪性新生物が昭和60年から脳血管疾患に代わって死因の第1位になっています。平成27年の悪性新生物による死亡数は649人、死亡率(人口10万対)は355.8となっています。第2位は心疾患で死亡数446人、死亡率244.5、第3位は肺炎で死亡数363人、死亡率199.0、第4位は老衰で死亡数244人、死亡率133.8となり、脳血管疾患(死亡数223人、死亡率122.3)と順位が入れ替わっています。

図表11-5-2-8 主な死因の内訳(平成27年)



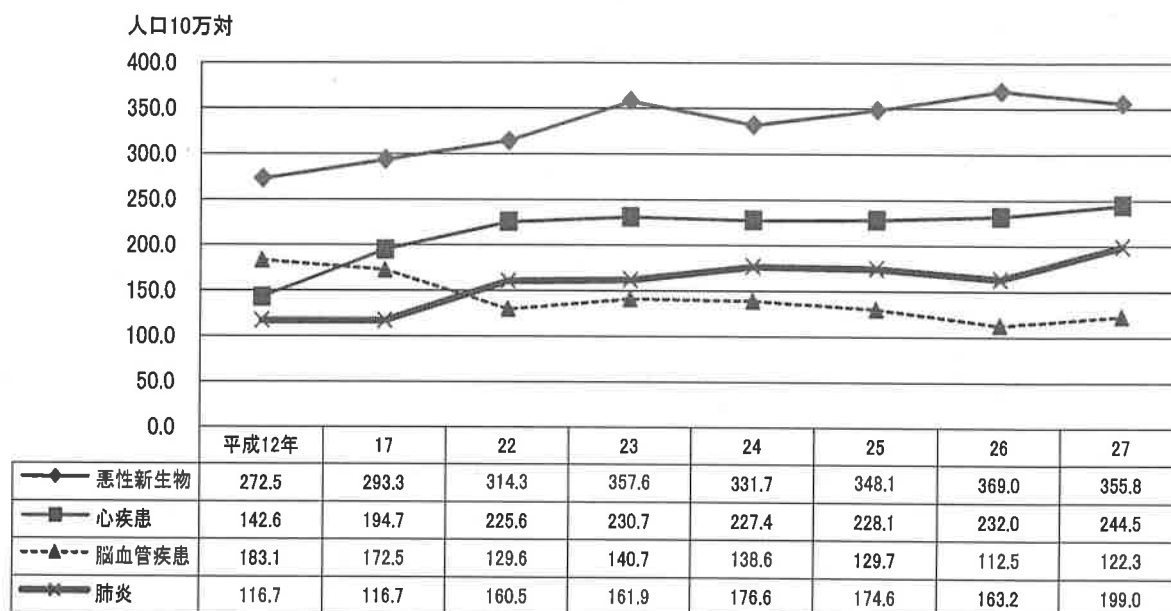
(資料:厚生労働省「平成27年人口動態統計」)

図表11-5-2-9 主な死因の内訳(平成27年) (単位:人、()内は死亡割合で%)

区分	圏域	岡山県
悪性新生物	649 (23.4)	5,595 (26.0)
心疾患	446 (16.0)	3,333 (15.5)
肺炎	363 (13.1)	2,396 (11.1)
老衰	244 ( 8.8)	1,505 ( 7.0)
脳血管疾患	223 ( 8.0)	1,855 ( 8.6)
不慮の事故	91 ( 3.3)	706 ( 3.3)
腎不全	67 ( 2.4)	461 ( 2.1)
自殺	37 ( 1.3)	346 ( 1.6)
慢性閉塞性肺疾患	35 ( 1.3)	279 ( 1.3)
肝疾患	35 ( 1.3)	231 ( 1.1)
糖尿病	27 ( 1.0)	214 ( 1.0)
高血圧性疾患	9 ( 0.3)	89 ( 0.4)
結核	2 ( 0.1)	21 ( 0.1)
その他	551 (19.8)	4,494 (20.9)
合計	2,779(100.0)	21,525(100.0)

(資料:厚生労働省「平成27年人口動態統計」)

図表11-5-2-10 圏域の死因別死亡率



(資料:厚生労働省「人口動態統計」)

(ウ)標準化死亡比(SMR)※

平成20年から平成24年の標準化死亡比を岡山県と比較すると、心疾患、急性心筋梗塞、肺炎、肝疾患、老衰が男女ともに高くなっています。



※標準化死亡比(SMR)

死亡率を比較する場合、高齢人口の多い市町村では死亡数が大きくなり、その結果、死亡数を人口で単純に割る死亡率の算出方法では、死亡率はおのずと高くなります。

このような人口構成の違いによる死亡率の高低を補正する方法の一つとして、「標準化死亡比(SMR)」があります。

この指標は、それぞれの地域の年齢階級別人口と全国の年齢階級別死亡率により算出されたそれぞれの地域の期待死亡数に対するその地域の実際の死亡数の比を示したものです。

圏域のSMRが100より大きい場合は全国の死亡率より高く、100より小さい場合は全国の死亡率より低いことを示します。

図表11-5-2-11 標準化死亡比(平成20年～24年)

男性

区分	脳血管疾患	心疾患	急性心筋梗塞	悪性新生物	胃がん	肺がん	大腸がん	肝臓がん	肺炎	肝疾患	腎不全	老衰	自殺
圏域	103.5	100.4	151.5	92.2	87.1	97.3	74.6	102.4	122.7	148.9	102.5	143.0	102.8
岡山県	99.2	91.6	121.2	93.1	87.1	99.1	77.8	105.5	109.6	100.8	96.3	94.1	92.2

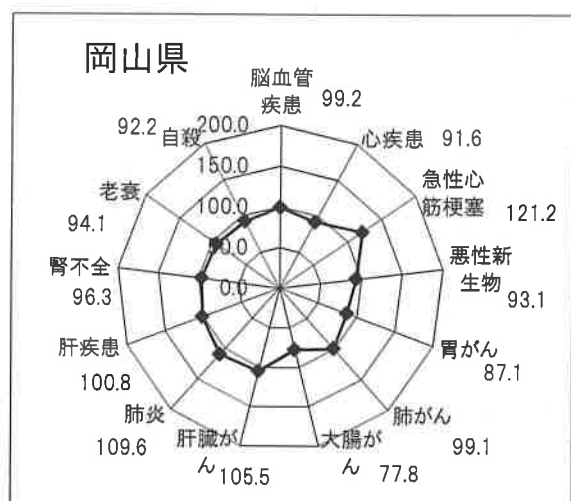
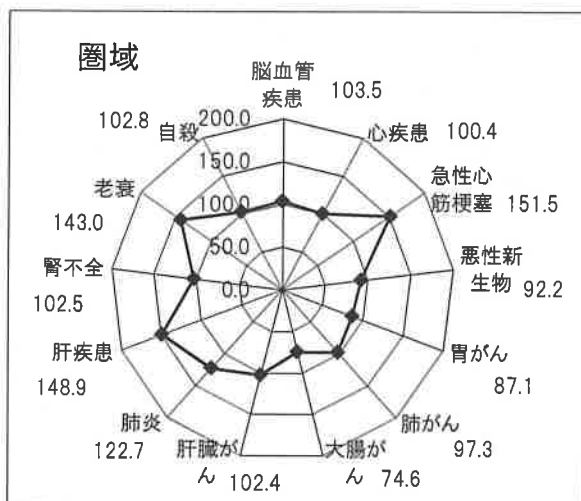
女性

区分	脳血管疾患	心疾患	急性心筋梗塞	悪性新生物	胃がん	肺がん	大腸がん	肝臓がん	肺炎	肝疾患	腎不全	老衰	自殺
圏域	94.3	97.1	138.3	87.4	93.5	86.9	67.3	126.2	108.8	95.6	86.7	119.1	72.6
岡山県	96.4	93.2	118.6	90.1	93.8	86.9	78.2	108.1	106.9	85.5	99.3	91.7	80.4

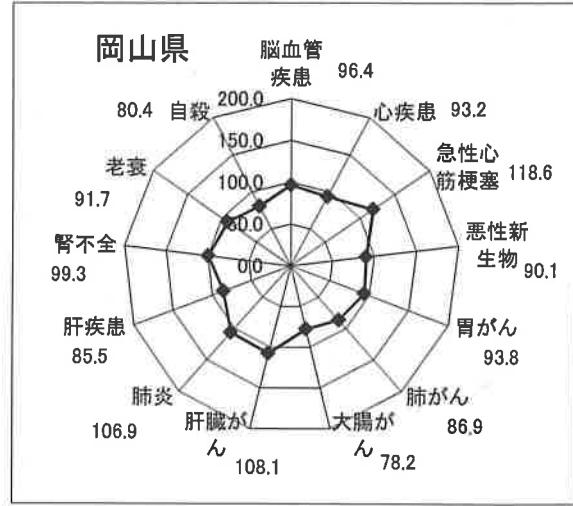
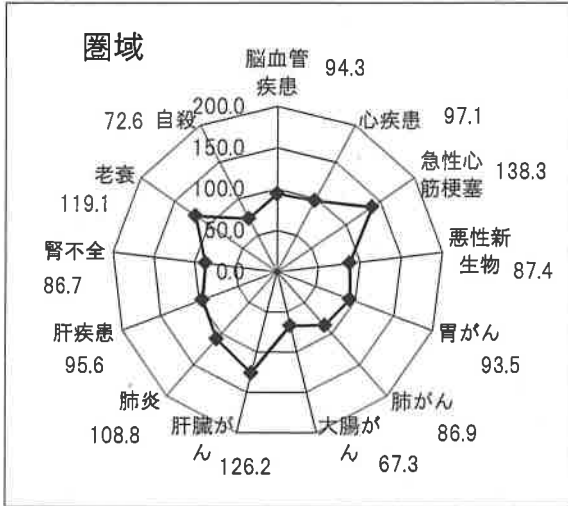
(資料:厚生労働省「人口動態統計特殊報告」)

図表11-5-2-12 標準化死亡比(SMR)の状況(平成20年～24年)

男性



女性

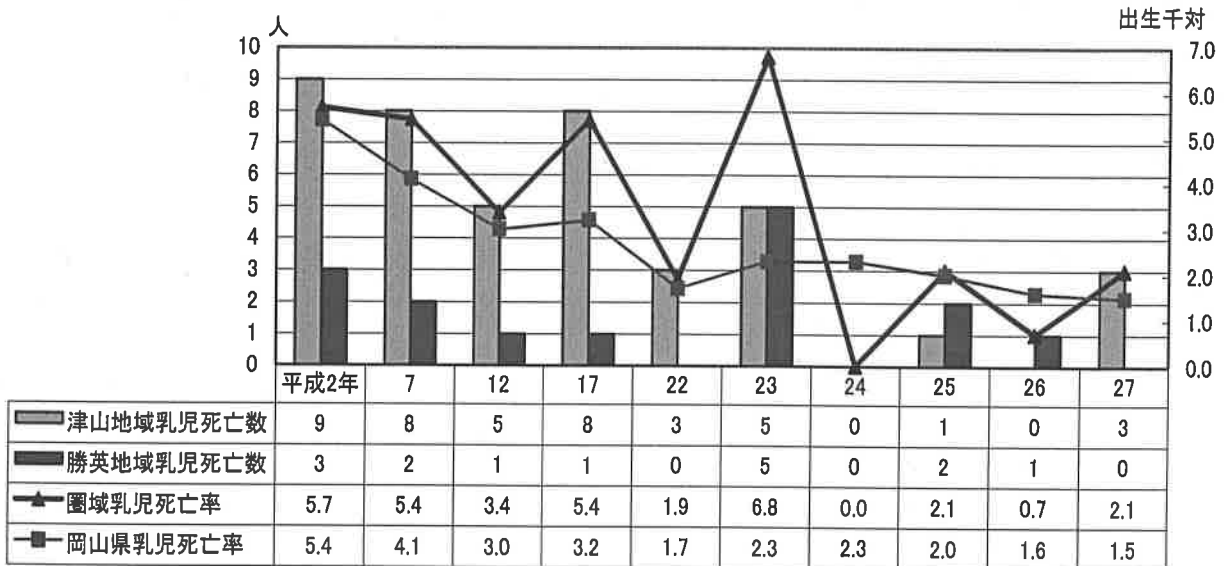


(資料:厚生労働省「人口動態統計特殊報告」)

ウ 乳児死亡

圏域の乳児死亡は減少傾向にあります。現在も毎年数人の乳児死亡があります。平成27年の乳児死亡(生後1年未満の死亡)数は3人(津山地域3人、勝英地域0人)、新生児死亡(生後28日未満の死亡)数は1人、圏域の乳児死亡率(出生千対)は2.1です。

図表11-5-2-13 乳児死亡の推移

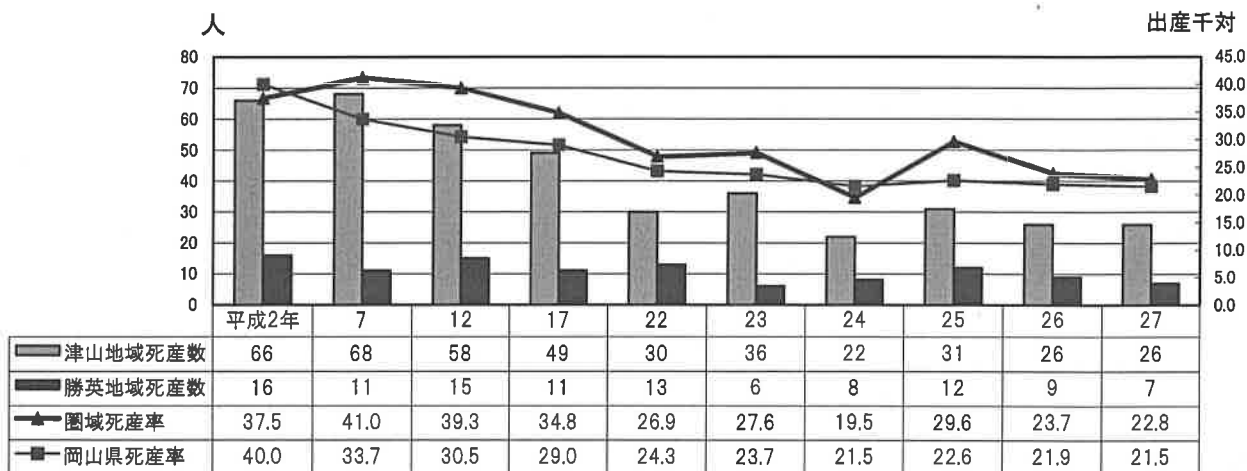


(資料:厚生労働省「人口動態統計」)

## エ 死産

圏域の死産(妊娠22週以後の死児の出産)率は近年概ね減少傾向にあります。平成27年の死産数は33人、死産率は22.8で、岡山県の21.5と比べやや高くなっています。

図表11-5-2-14 死産の推移

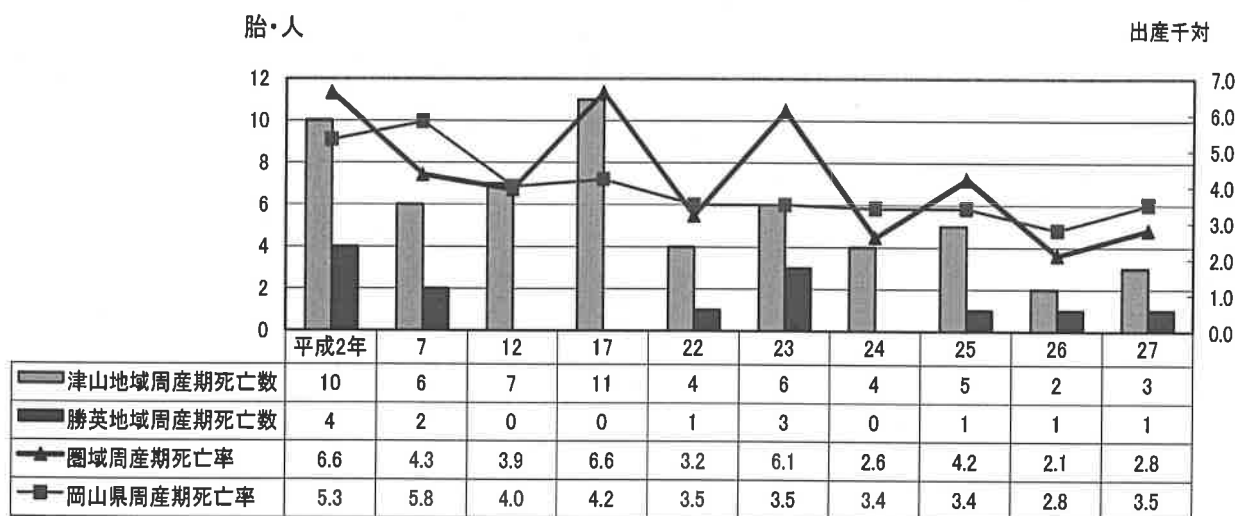


(資料:厚生労働省「人口動態統計」)

## オ 周産期死亡

周産期死亡(妊娠満22週以後の死産と生後7日未満の早期新生児死亡を合せたもの)は近年ほぼ横ばいで、平成27年の周産期死亡数は4胎・人、周産期死亡率は2.8であり、岡山県の3.5と比べ低くなっています。

図表11-5-2-15 周産期死亡の推移



(資料:厚生労働省「人口動態統計」)

(2)保健医療資源の状況

①医療施設

ア 病院

平成27年の病院数は18施設で、人口10万対で見ると、圏域が9.9施設で岡山県の8.5施設より高くなっています。内訳は、一般病院、精神科病院ともに圏域が岡山県より高くなっています。圏域の病床数は2,527床となっています。病床の種別では、一般病床が1,146床、療養病床は737床、精神病床は606床、結核病床は30床となっています。人口10万対の病床数は、一般病床が628.2床と岡山県の953.5床を大きく下回っています。

圏域の病院18施設のうち、7施設が救急告示施設として救急医療を行っています。

図表11-5-2-16 病院施設及び病床(各年10月1日現在)

(単位:施設、床)

区分		病院施設数			病院病床数					
		一般病院	精神科病院		一般病床	療養病床	精神病床	結核病床	感染症病床	
圏域	平成23年	18 (9.5)	16 (8.5)	2 (1.1)	2,544 (1,346.0)	1,138 (602.1)	739 (391.0)	629 (332.8)	30 (15.9)	8 (4.2)
	24年	18 (9.6)	16 (8.6)	2 (1.1)	2,544 (1,361.2)	1,138 (608.9)	739 (395.4)	629 (336.5)	30 (16.1)	8 (4.3)
	25年	18 (9.7)	16 (8.6)	2 (1.1)	2,521 (1,362.7)	1,138 (615.1)	739 (399.5)	606 (327.6)	30 (16.2)	8 (4.3)
	27年	18 (9.9)	16 (8.8)	2 (1.1)	2,527 (1,385.3)	1,146 (628.2)	737 (404.0)	606 (332.2)	30 (16.4)	8 (4.4)
	岡山県	平成23年	174 (9.0)	157 (8.1)	17 (0.9)	29,776 (1,534.3)	18,788 (968.1)	4,906 (252.8)	5,820 (299.9)	236 (12.2)
岡山県	24年	171 (8.8)	154 (8.0)	17 (0.9)	29,574 (1,527.1)	18,702 (965.7)	4,881 (252.0)	5,749 (296.9)	216 (11.2)	26 (1.3)
岡山県	25年	170 (8.8)	153 (7.9)	17 (0.9)	29,378 (1,522.2)	18,555 (961.4)	4,861 (251.9)	5,720 (296.4)	216 (11.2)	26 (1.3)
岡山県	27年	164 (8.5)	147 (7.7)	17 (0.9)	28,813 (1,499.5)	18,321 (953.5)	4,722 (245.7)	5,608 (291.9)	136 (7.1)	26 (1.4)

(資料:厚生労働省「医療施設調査」、岡山県統計分析課「岡山県毎月流動人口調査」)

( )は人口10万対

イ 一般診療所

平成27年の一般診療所数は圏域が166施設で、人口10万対では91.0であり、岡山県の86.3を上回っており、その病床数は圏域が333床で、人口10万対では182.6であり、岡山県の127.4を上回っています。

ウ 歯科診療所

平成27年の歯科診療所は圏域が82施設で、人口10万対では45.0施設であり、岡山県の51.8施設と比べやや下回っています。

図表11-5-2-17 一般診療所及び歯科診療所 (単位:施設、床)

区 分		一般診療所		歯科診療所
		施設数	病床数	施設数
圏 域	平成23年	168(88.9)	403(213.2)	83(43.9)
	24年	166(88.8)	403(215.6)	84(44.4)
	25年	165(89.2)	403(217.8)	83(44.9)
	27年	166(91.0)	333(182.6)	82(45.0)
岡山県	平成23年	1,622(83.6)	2,778(143.1)	1,002(51.6)
	24年	1,631(84.2)	2,762(142.6)	1,003(51.8)
	25年	1,638(84.9)	2,664(138.0)	1,006(52.1)
	27年	1,659(86.3)	2,448(127.4)	996(51.8)

(資料:厚生労働省「医療施設調査」、岡山県統計分析課「岡山県毎月流動人口調査」  
( )は人口10万対)

エ 在宅療養支援医療施設

平成27年に圏域には、在宅療養支援病院は3施設、在宅療養支援診療所31施設があり、在宅医療を担っています。

図表11-5-2-18 在宅療養支援病院 (単位:施設)

保健医療圏域 年次	保健医療圏域					計
	県南東部	県南西部	高梁・新見	真庭	津山・英田	
平成24年	9	9	0	1	3	22
平成25年	9	10	0	1	3	23
平成26年	13	16	0	1	3	33
平成27年	13	14	0	1	3	31

(資料:岡山県医療推進課「診療報酬施設基準における在宅療養支援病院数」)

図表11-5-2-19 在宅療養支援診療所 (単位:施設)

保健医療圏域 年次	保健医療圏域					計
	県南東部	県南西部	高梁・新見	真庭	津山・英田	
平成24年	185	80	8	11	31	315
平成25年	185	80	8	11	31	315
平成26年	194	88	7	12	30	331
平成27年	194	85	7	13	31	330

(資料:岡山県医療推進課「診療報酬施設基準における在宅療養支援診療所数」)

## ②保健関係施設

圏域には、全市町村に18カ所の市町村保健センターが整備され、生活習慣病対策や母子保健事業等の住民に身近な保健サービスを担っています。

また、保健所は感染症対策、精神保健、難病対策などの広域的、専門的な対人保健サービスや医薬、食品衛生、生活衛生施策などを行っています。

## ③保健医療従事者

医師、歯科医師、薬剤師の数(人口10万対)は、いずれも岡山県より少ない状況です。看護職は、人口10万対の保健師数は圏域が68.8で、岡山県の48.6を上回っていますが、助産師、看護師は岡山県より少なく、准看護師は岡山県より多くなっています。

図表11-5-2-20 医師、歯科医師、薬剤師数(平成26年12月31日現在)

(単位:人)

区 分	医師	歯科医師	薬剤師
圏 域	383(209.1)	110(60.0)	317(173.0)
岡山県	5,760(299.4)	1,715(89.1)	3,937(204.6)

(資料:厚生労働省「平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査」、岡山県統計分析課「岡山県毎月流動人口調査」( )は人口10万対)

図表11-5-2-21 保健師、助産師、看護師、准看護師数(平成26年12月31日現在)

(単位:人)

区 分	保健師	助産師	看護師	准看護師
圏 域	126(68.8)	35(19.1)	1,923(1049.7)	616(336.3)
岡山県	936(48.6)	453(23.5)	20,926(1087.6)	5,119(266.1)

(資料:衛生行政報告例、岡山県統計分析課「岡山県毎月流動人口調査」( )は人口10万対)

### (3) 受療の動向

#### ① 患者数及び受療率

平成28年の国民健康保険被保険者の入院の状況は、圏域は被保険者100対で2.40、岡山県は2.24で、圏域が上回っています。

図表11-5-2-22 受療の状況

(単位:件数、(被保険者100対))

区分 年次	入院		外来	
	圏域	岡山県	圏域	岡山県
平成24年	887(1.93)	9,634(1.89)	39,274(85.56)	443,979(87.20)
平成25年	1,042(2.33)	9,548(1.89)	38,696(88.70)	444,095(88.13)
平成26年	970(2.23)	10,836(2.17)	38,152(87.53)	440,557(88.39)
平成27年	1,057(2.48)	10,932(2.24)	36,955(86.86)	429,167(87.99)
平成28年	979(2.40)	10,624(2.24)	36,466(89.37)	424,640(89.64)

(資料:岡山県国民健康保険団体連合会統計、年5月診療分)

#### ② 受療動向

県内の病院(一般病床、療養病床)の所在圏域別に入院患者の住所別状況を圏域患者総数に対する割合で見ると、平成29年に当圏域で入院した患者は、83.77%でした。圏域外医療機関には、県南東部に11.79%、県南西部に2.40%の患者が入院しています。

図表11-5-2-23 入院患者の受療動向(一般病床及び療養病床)

〈平成29年〉

(単位:%)

受療地 \ 住所地	県南東部	県南西部	高梁・新見	真庭	津山・英田	県外
県南東部保健医療圏域	92.43	5.73	12.66	11.87	11.79	58.81
県南西部保健医療圏域	6.82	94.08	19.32	4.43	2.40	35.98
高梁・新見保健医療圏域	0.40	0.09	63.28	1.11	0.00	0.62
真庭保健医療圏域	0.07	0.05	4.52	75.32	2.05	0.62
津山・英田保健医療圏域	0.27	0.05	0.23	7.28	83.77	3.97
計	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00

(資料:岡山県医療推進課調べ(平成29(2017)年1月16日時点))

〈平成27年〉

(単位:%)

受療地 \ 住所地	県南東部	県南西部	高梁・新見	真庭	津山・英田	県外
県南東部保健医療圏域	90.26	5.79	12.95	14.58	11.85	59.07
県南西部保健医療圏域	8.27	94.03	20.81	6.25	3.00	36.27
高梁・新見保健医療圏域	0.48	0.15	62.31	0.57	0.05	0.93
真庭保健医療圏域	0.12	0.00	3.70	72.92	1.74	0.53
津山・英田保健医療圏域	0.86	0.03	0.23	5.68	83.36	3.20
計	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00

(資料:岡山県医療推進課調べ(平成27(2015)年5月13日時点))

(注)調査指定日現在における入院患者について、医療機関の所属する圏域別に患者の住所地別で集計したものを圏域患者総数に対する割合で示した。住所不詳を除く。

③病床利用率及び平均在院日数

圏域の平成27年の病床利用率は84.0%で、岡山県の74.1%より高くなっています。

また、平均在院日数は33.7日で、岡山県の27.7日より長くなっています。

図表11-5-2-24 病床利用率及び平均在院日数の状況

区 分	病床利用率(%)				平均在院日数(日)			
	総数	一般病床	療養病床	精神病床	総数	一般病床	療養病床	精神病床
圏 域	84.0	83.7	86.6	—	33.7	17.0	112.4	—
岡山県	74.1	70.0	84.6	79.5	27.7	17.6	118.4	236.4

(資料:厚生労働省「平成27(2015)年病院報告」)